

781. Banach 空間 = 於ケル linear functional  
ノ 集合 = 關スル weak topology = 就  
イテ

角 谷 静 夫 (阪大)

Banach 空間  $E$  上 定 義 サレタ アラエル bounded  
linear functional  $f(x)$  ハ ヌー ツ ノ Banach 空間  
 $\bar{E}$  ヲ 作 ヲ ヲ キル。 任 意 ノ  $f \in \bar{E}$  = 對 シ テ  $f$  ノ norm  $\|f\|$  ハ

$\|f\| = l. u. b. |f(x)| = \text{ヨツテ定義セラレ, コノ norm}$   
 $\|x\| \leq 1$

= ヨツテ興ハラレル *topology* ハ  $E$ ノ *strong topology*  
ト呼バレル。コレニ對シテ  $\bar{E}$  = 於テハ 又 *weak topology*  
ガ考ハラレル。即チ任意ノ  $f_0 \in \bar{E}$  = 對シテ  $\bar{E}$ ノ *weak*

*neighbourhood*  $\bigcup \left( f_0; \begin{matrix} x_1, x_2, \dots, x_n \\ \varepsilon_1, \varepsilon_2, \dots, \varepsilon_n \end{matrix} \right)$  ハ

$|f(x_i) - f_0(x_i)| < \varepsilon_i, i = 1, 2, \dots, n$  ナル如キ  $f \in \bar{E}$   
全体ノ集合トシテ定義サレル。但シ  $x_1, x_2, \dots, x_n$  ハ  $E$   
ノ任意ノ点,  $\varepsilon_1, \varepsilon_2, \dots, \varepsilon_n$  ハ任意ノ *real positive*  
*number*,  $n$  ハ任意ノ *integer* デアル。コノ近傍系 =  
ヨツテ  $\bar{E}$  ガ一ツノ *Hausdorff* 空間トナツテキルコト  
ハ明カデアリ。又コノ近傍系 = ヨツテ  $\lim_{n \rightarrow \infty} f_n = f_0$  トナル  
ノハ, 任意ノ  $x \in E$  = 對シテ  $\lim_{n \rightarrow \infty} f_n(x) = f_0(x)$  (*real*  
*number*ノ系列トシテノ收斂)トナルコトト同等デアアル。

シカシ *weak topology* ハ近傍系トシテ第一可附番公  
理ヲ満足シテキナイカラ、コノ *weak topology* = ヨツ  
テ一点  $f_0$ ガ  $\bar{E}$ ノ部分集合  $G$ ノ集積点トナツテキタトシ  
テモ  $G$ ノ中ヨリ  $f_0$ ニ(弱)收斂スル部分列ヲ選ビ出スコトハ  
必ズシテ可能デアナイ。(例ヘバ J. v. Neumann: *Zur*  
*Algebra der Funktional operationen und*  
*theorie der normalen Operatoren*, *Math.*  
*Ann.* 102. 380頁)。コノ事實ノタメ  $\bar{E}$ ノ *weak*  
*topology*ノ取扱ヒガ困難デ、色々ト面倒ナコトガ起ツテ

來ル。

例へバ、 $\bar{E}$ ノ線状部分集合  $G$  が *regularly closed* デアルト云フ性質ヲ論シルタメニハ *transfinitely closed* ト云フ概念ヲ持ツテ來ナケレバナラナカツタ。

(Banachノ書。Opérations linéaires, p. 116—118)。但シココニ  $\bar{E}$ ノ線状部分集合  $G$  が *regularly closed* デアルト云フノハ任意ノ  $f_0 \in \bar{E} - G$ ニ對シテ  $x_0 \in E$  が定マツテ  $f_0(x_0) \neq 0$ ,  $f(x_0) = 0$  for  $f \in G$  トナルコトデアル。*transfinitely closed*ノ定義ハ以下ノ議論ニハ必要ガナイノヲ省略スル。(詳シクハ Banachノ本ヲ参照)

Banachハ  $\bar{E}$ ノ線状部分集合  $G$ ニ對シテ *regularly closed* デアルコトト *transfinitely closed* デアルコトトが同等デアルコトヲ証明シテ、コレヲ種々ノ議論ニ用ヒテキル。以下ニ於テハ  $\bar{E}$ ノ線状部分集合  $G$ ニ對シテ *regularly closed* デアルコトト *weakly closed* (*weak topology*ニ於テ *closed*) デアルコトトが同等デアルコトヲ証明シヨウ。コレハ非常ニ簡單ナコトデ、當然注意サレルベキコトデアリナガラホダコレヲ述ベタモノヲ見タコトガナイ。

シカモコノ考ヲ用ヒルト Banachノ行ツタ議論が大ニ簡單ニナレヨウデアル。<sup>1)</sup>

---

脚註ハ次頁ニ

定理.  $E$  / 部分線状集合  $G$  が *regularly closed* であることは必要且十分条件  $G$  が  $\bar{E}$  であることは *weak topology* であることである。

証明: 必要十分条件の明らかなことは十分条件の証明スル。  $f_0 \in \bar{E} - G$  である且つ  $G$  が *weak topology* であることであるから、  $f_0$  の *weak neighbourhood*

$$\bigcup \left( f_0; \varepsilon_1, \varepsilon_2, \dots, \varepsilon_n \right) \text{ が定まる } G \cap \bigcup \left( f_0; \varepsilon_1, \varepsilon_2, \dots, \varepsilon_n \right)$$

は空である。 よって任意の  $f \in \bar{E}$  = 對して  $n$  次元 Euclid 空間  $R_n$  内 / 点  $\{f(x_1), f(x_2), \dots, f(x_n)\}$  に対応せしめれば  $f \rightarrow \{f(x_1), f(x_2), \dots, f(x_n)\}$  は  $\bar{E} \rightarrow R_n$  なる *linear transformation* を定む。 且つこの  $T = \text{ヨル } G$  / 像  $T(G)$  は  $T(f_0) = \{f_0(x_1), f_0(x_2), \dots, f_0(x_n)\}$  /  $(\varepsilon_1, \varepsilon_2, \dots, \varepsilon_n)$ -近傍 ( $R_n$  内) に入らぬ。  $T(G)$  は  $R_n$  内 / 線状部分集合であるから、適当 = *real number*  $c_1, c_2, \dots, c_n$  を定めて  $(\xi_1, \xi_2, \dots, \xi_n) \in T(G)$  とならぬ

$$\sum_{i=1}^n c_i \xi_i = 0, \text{ 且つ } \sum_{i=1}^n c_i f_0(x_i) \neq 0 \text{ なる如くスルこと}$$

が出来ぬ。 よって今  $x_0 = \sum_{i=1}^n c_i x_i$  とおけば  $x_0 \in E$  である

(1) C.R. 206, Nr. 23 (1938) = 於て N. Bourbaki が  $\bar{E}$  であることは *weak topology* を論じて、この考へを用いた  $E$  が *regular* であること / 条件が比較的容易に與へられることを示して居る。 しかし Bourbaki の上記の事實は少しも触れて居ない。

$$f \in G \text{ かつ } \nu \neq 0 \text{ ならば } f(x_0) = f\left(\sum_{i=1}^n c_i x_i\right) = \sum_{i=1}^n c_i f(x_i) = 0,$$

$$\text{且 } \nu f_0(x_0) = \nu f_0\left(\sum_{i=1}^n c_i x_i\right) = \sum_{i=1}^n c_i \nu f_0(x_i) \neq 0 \text{ かつ } \nu.$$

此ノ如クシテ  $x_0$  が定マツタカラ  $G$  は *regularly closed* ナル。 — 以上 —